

**情報通信審議会 情報通信技術分科会
技術戦略委員会重点領域WGについて**

**令和2年2月7日
事務局**

情報通信審議会 情報通信技術分科会 技術戦略委員会重点領域WGについて

第一回開催日時：令和2年1月27日（月） 15：00～17：00

- 議事：
- (1) 重点領域ワーキンググループの設置について
 - (2) 技術戦略委員会中間報告書における「重点研究開発課題に関する工程表」
（平成27年7月28日技術戦略委員会）の実施状況について
 - (3) 次期グローバルコミュニケーション計画について
 - (4) 意見交換

構成員名簿

（令和2年1月27日現在 敬称略）

	氏名	主要現職
主任	森川 博之	東京大学大学院 工学系研究科 教授
	伊藤 公平	慶應義塾大学 理工学部 教授
	梅比良 正弘	茨城大学大学院 理工学研究科 教授
	佐々木 良一	東京電気大学 総合研究所 特命教授
	下條 真司	大阪大学 サイバーメディア研究センター長/教授
	鶴岡 慶雅	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授
	安井 元昭	国立研究開発法人情報通信研究機構 経営企画部長

オブザーバー

氏名	所属	氏名	所属
前田 裕二	NTT株式会社	宮下 裕章	三菱電機株式会社
畑川 養幸	KDDI株式会社	石田 明	パナソニック株式会社
中村 祐一	日本電気株式	神田 充	株式会社東芝
加藤 次雄	株式会社富士通研究所		

検討の目的

Society 5.0の実現やグローバル展開に向けたICT技術戦略を推進するため、次期科学技術基本計画や国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の次期中長期計画等を見据えつつ、ICT分野で国が重点的に取り組むべき技術課題や社会実装方策等について検討を行う

検討項目・論点

- **近年の社会情勢やニーズを踏まえ、国として取り組むべきICT分野の研究開発課題**
 - ・ 進展が著しい技術（AI、脳情報、量子暗号、B5G等）を含めた重点領域の特定
 - ・ 産学官の役割分担を踏まえ国として取り組むべき研究開発分野・課題



重点領域ワーキンググループ

- **技術成果の社会実装方策及びオープンイノベーションに対応した研究開発の環境整備等**
 - ・ 社会実装の推進方策、産学連携及びオープンイノベーション体制の在り方
 - ・ 研究開発による社会課題解決に向けた貢献方策
 - ・ 産学連携及びオープンイノベーションに資する研究拠点の在り方
 - ・ 競争的資金を含めた国の研究開発プログラムの在り方



共創イノベーションワーキンググループ

標準化戦略ワーキンググループ

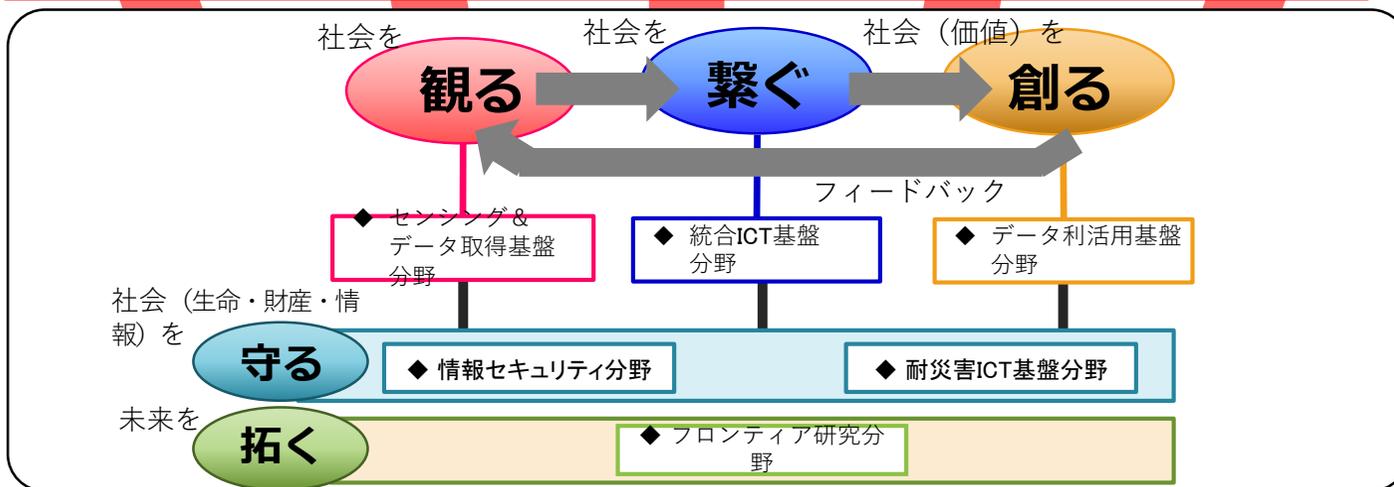
新たな情報通信技術戦略に関する重点研究開発分野・課題の方向性(案)

- 過去5年間の情報通信技術戦略において示された「(社会を)『観る』『繋ぐ』『創る』『守る』『拓く』」の分類はICT分野に関する研究領域をほぼ網羅的に分類しているものであり、改めて変更する必要までではないのではないか。
- 国の研究開発戦略(統合イノベーション戦略等、次期科学技術基本計画)の策定・検討状況を見ながら、**進展が著しい技術(Beyond 5G、AI、脳情報、量子暗号、サイバーセキュリティ)**を**戦略的研究分野**として設定し、強化を図るとすれば、これらの分野が妥当なのか。

2025年を目途に解決すべき社会課題(地方のモビリティの確保、安全・安心の実現……等等)へアプローチ



戦略的に進めるべき研究分野(案)

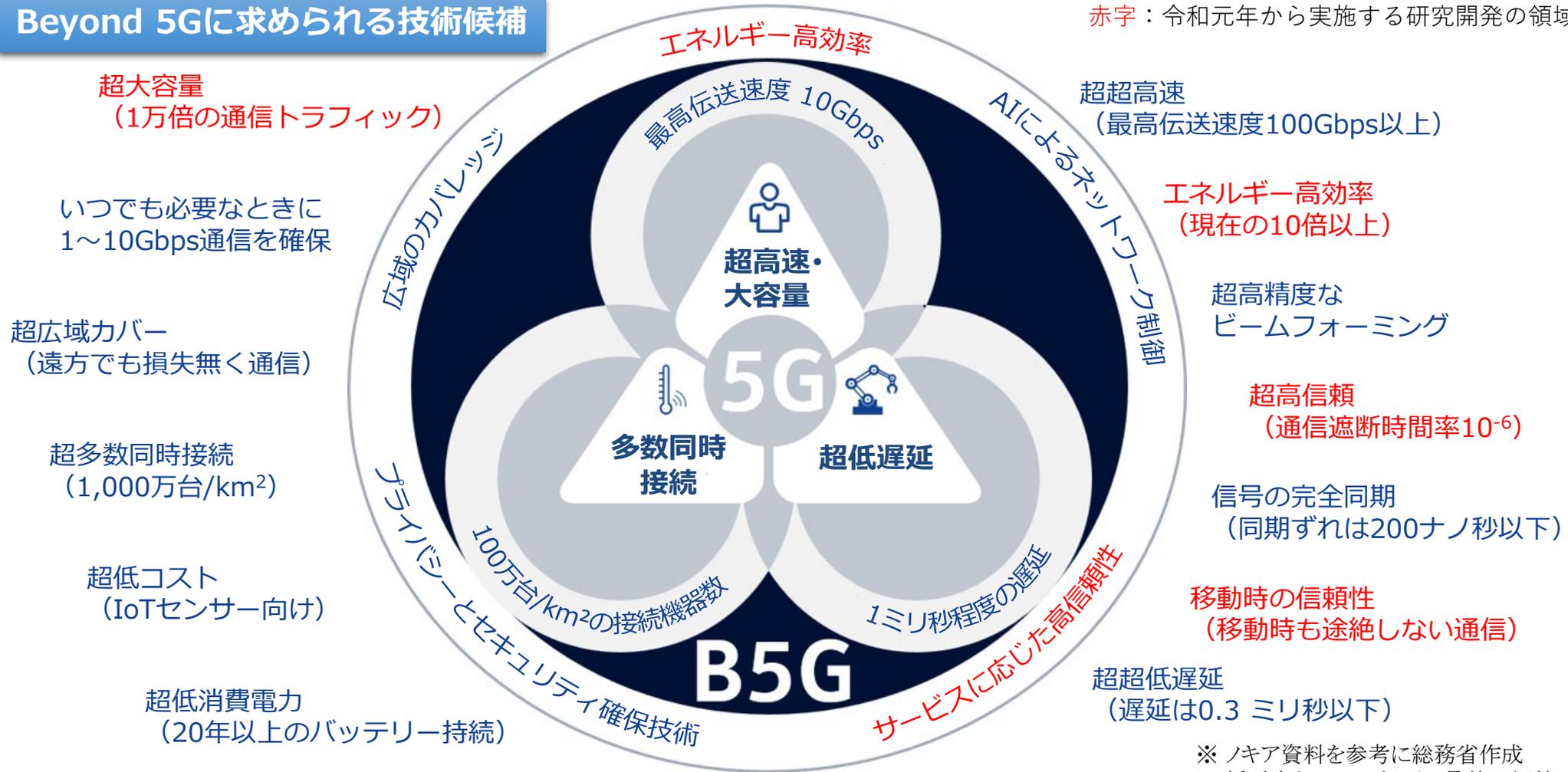


Beyond 5Gに求められる技術

- Beyond 5Gでは、5Gの特長（超高速、超低遅延、多数同時接続）の更なる高度化に加え、高信頼化やエネルギー効率の向上など新たな技術革新が期待される。
- AIやクラウドコンピューティングを利用した信号処理についても、今後無線部分と一体となった技術開発が進められる見通し。

Beyond 5Gに求められる技術候補

赤字：令和元年から実施する研究開発の領域



※ ノキア資料を参考に総務省作成
 ※ 括弧書きは2030年頃の最終目標値